

The Project Gutenberg eBook of 羅生門, by Ryunosuke Akutagawa

This ebook is for the use of anyone anywhere in the United States and most other parts of the world at no cost and with almost no restrictions whatsoever. You may copy it, give it away or re-use it under the terms of the Project Gutenberg License included with this ebook or online at www.gutenberg.org. If you are not located in the United States, you'll have to check the laws of the country where you are located before using this eBook.

Title: 羅生門

Author: Ryunosuke Akutagawa

Release date: November 1, 1999 [EBook #1982]

Most recently updated: April 15, 2013

Language: Japanese

*** START OF THE PROJECT GUTENBERG EBOOK 羅生門 ***

Produced by Rick Davis

RASHOMON

By AKUTAGAWA Ryunosuke

A note from the digitizer

This file is encoded in Japanese. Your computer must be Japanese-capable to read it.

The text was taken from a 1917 edition which is naturally written in the traditional orthography with prewar kanji forms. I have taken the liberty of using postwar orthography and kanji forms, and have also added readings in parentheses where I considered them necessary.

羅生門

芥川龍之介

或日の暮方の事である。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。広い門の下には、この男の外に誰もいない。ただ、所々丹塗の剥げた、大きな円柱に、きりぎりすが一匹とまっている。羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男の外にも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男の外に誰もいない。何故かと云うと、この二三年、京都には、地震とか辻風とか火事とか饑饉とか云う災いがつづいて起こった。そこで洛中のさびれ方は一通りでない。旧記によると、仏像や仏具を打碎いて、その丹がついたり、金

銀の箔（はく）がついたりした木を、路ばたに つみ重ねて薪の料（しろ）に売っていたと云うことである。洛中がその始末であるから、羅生門の修理などは、元より誰も捨てて顧みる者がなかった。するとその荒れ果てたのをよい事にして、狐狸（こり）が棲む。盗人が棲む。とうとうしまいには、引取り手の ない死人を、この門へ持って来て、捨てて行くと云う習慣さえ出来た。そこで、日の目 が見えなくなると、誰でも気味を悪がって、この門の近所へは足ぶみをしない事になってしまったのである。その代り又鴉が何処からか、たくさん集まって来た。昼間見ると、その鴉が何羽となく輪を描いて、高い鴉尾（しび）のまわりを啼きながら、飛びまわっている。殊に門の 上の空が、夕焼けであかくなる時には、それが胡麻をまいたようにはっきり見えた。鴉 は、勿論、門の上にある死人の肉を、啄みに来るのである。――尤も今日は、刻限が遅 いせいか、一羽も見えない。唯、所々、崩れかかった、そうしてその崩れ目に長い草のはえた石段の上に、鴉の糞（くそ）が、点々と白くこびりついているのが見える。下人 は七段ある石段の一番上の段に洗いざらした紺の襖（あお）の尻を据えて、右の頬に出 来た、大きな面皷（にきび）を気にしながら、ぼんやり、雨のふるのを眺めているのである。 作者はさっき、「下人が雨やみを待っていた」と書いた。しかし、下人は、雨がやん でも格別どうしようも云う当てはない。ふだんなら、勿論、主人の家へ帰る可き筈である。所がその主人からは、四五日前に暇を出された。前にも書いたように、当時京都の 町は一通りならず衰微していた。今この下人が、永年、使われていた主人から暇を出さ れたのも、この衰微の小さな余波に外ならない。だから、「下人が雨やみを待っていた」と云うよりも、「雨にふりこめられた下人が、行き所がなくて、途方にくれていた」と云う方が、適当である。その上、今日の空模様も少なからずこの平安朝の下人の Sentimentalism に影響した。申（さる）の刻下がりからふり出した雨は、未だに上 がるけしきがない。そこで、下人は、何を措いても差当たり明日の暮しをどうかしようとして――云わばどうにもならない事を、どうかしようとして、とりとめもない考 えをたどりながら、さっきから朱雀大路にふる雨の音を聞くともなく聞いていた。 雨は羅生門をつつんで、遠くから、ざあつと云う音をあつめてくる。夕闇は次第に空 を低くして、見上げると、門の屋根が、斜めにつき出した甍（いらか）の先に、重たく うす暗い雲を支えている。 どうにもならない事を、どうかする為には、手段を選んでいる違（いとま）はない。 選んでいれば、築地（ついじ）の下か、道ばたの土の上で、餓死（うえじに）をするばかりである。そうして、この門の上へ持って来て、犬のように捨てられてしまふばかり である。選ばないとすれば――下人の考えは、何度も同じ道を低徊した揚句に、やっと この局所へ逢着した。しかしこの「すれば」は、いつもでたつても、結局「すれば」であった。下人は、手段を選ばないという事を肯定しながらも、この「すれば」のかたをつける為、当然、この後に来る可き「盗人になるより外に仕方がない」と云う事を、 積極的に肯定するだけの、勇気が出ずにいたのである。 下人は大きな嚏（くさめ）をして、それから、大儀そうに立上がった。夕冷えのする 京都は、もう火桶が欲しい程の寒さである。風は門の柱と柱との間を、夕闇と共に遠慮 なく、吹きぬける。丹塗の柱にとまっていたきりぎりすも、もうどこかへ行ってしまった。 下人は、頸をちぢめながら、山吹の汗衫（かざみ）に重ねた、紺の襖の肩を高くして 門のまわりを見まわした。雨風の患のない、人目にかかる惧のない、一晚楽にねられそ うな所があれば、そこでともかくも、夜を明かそうと思ったからである。すると、幸門 の上の楼へ上る、幅の広い、之も丹を塗った梯子が眼についた。上なら、人がいたにし ても、どうせ死人ばかりである。下人は、そこで腰にさげた聖柄（ひじりづか）の太刀 が鞘走らないように気をつけながら、藁草履をはいた足を、その梯子の一番下の段へふ みかけた。 それから、何分かの後である。羅生門の楼の上へ出る、幅の広い梯子の中段に、一人 の男が、猫のように身をちぢめて、息を殺しながら、上の容子を窺っていた。楼の上か らさす火の光が、かすかに、その男の右の頬をぬらしている。短い鬚（ひげ）の中に、 赤く膿を持った面皷のある頬である。下人は、始めから、この上にいる者は、死人ばかりだと高を括っていた。それが、梯子を二三段上って見ると、上では誰か火をとぼして、 しかもその火を其処此处と動かしているらしい。これは、その濁った、黄いろい光が、 隅々に蜘蛛の巣をかけた天井裏に、ゆれながら映ったので、すぐにそれと知れたのである。この雨の夜に、この羅生門の上で、火をともしているからは、どうせ唯の者ではない。 下人は、宮守（やもり）のように足音をぬすんで、やっと急な梯子を、一番上の段まで這うようにして上りつめた。そうして体を出るだけ、平にしながら、頸を出るだけ、前へ出して、恐る恐る、楼の内を覗いて見た。 見ると、楼の内には、噂に聞いた通り、幾つかの屍骸（しがい）が、無造作に棄てて あるが、火の光の及ぶ範囲が、思ったより狭いので、数は幾つともわからない。唯、お ぼろげながら、知れるのは、その中に裸の屍骸と、着物を着た屍骸とがある云う事である。勿論、中には女も男もまじっているらしい。そうして、その屍骸は皆、それが、嘗（かつて）、生きていた人間だと云う事実さえ疑われる程、土を捏ねて造った人形のように、口を開いたり、手を伸ばしたりして、ごろごろ床の上にくらがっていた。しかも、肩とか胸とかの高くなっている部分に、ぼんやりした火の光をうけて、低くなっている部分の影を一層暗くしながら、永久に唾（おし）の如く黙っていた。 下人は、それらの屍骸の腐爛した臭気に思わず、鼻を掩った（おおった）。しかし、 その手は、次の瞬間には、もう鼻を掩う事を忘れていた。或る強い感情が殆悉（ほとんどことごとく）この男の嗅覚を奪ってしまったからである。 下人の眼は、その時、はじめて、其屍骸の中に蹲っている（うづくまっている）人間 を見た。檜肌色（ひはだいろ）の着物を著た、背の低い、痩せた、白髪頭の、猿のよう な老婆である。その老婆は、右の手に火をともした松の木片を持って、その屍骸の一つ の顔を覗きこむように眺めていた。髪の毛の長い所を見ると、多分女の屍骸であろう。 下人は、六分の恐怖と四分の好奇心とに動かされて、暫時は呼吸（いき）をするのさえ忘れていた。旧記の記者の語を借りれば、「頭身（とうしん）の毛も太る」ように感じたのである。すると、老婆は、松の木片を、床板の間に挿して、それから、今まで眺 めていた屍骸の首に両手をかけると、丁度、猿の親が猿の子の虱（しらみ）をとるように、その長い髪の毛を一本ずつ抜きはじめた。髪は手に従って抜けるらしい。 その髪の毛が、一本ずつ抜けるのに従って下人の心からは、恐怖が少しずつ消えて行った。そうして、それと同時に、その老婆に対するはげしい憎悪が、少しずつ動いて来た。 いや、この老婆に対すると云っては、語弊があるかも知れない。寧（むしろ）、あらゆる悪に対する反感が、一分毎に強さを増して来たのである。この時、誰かがこの下人に、 さっき門の下でこの男が考えていた、餓死（うえじに）をするか盗人になるかと云う問 題を、改めて持出したら、恐らく下人は、何の未練もなく、餓死を選んだ事であろう。それほど、この男の悪を憎む心は、老婆の床に挿した松の木片のように、勢よく燃え上がりだしていたのである。 下人には、勿論、何故老婆が死人の髪の毛を抜くかわからなかった。従って、合理的 には、それを善悪の何れに片づけてよいか知らなかった。しかし下人にとっては、この 雨の夜に、この羅生門の上で、死人の髪の毛を抜くと云う事が、それだけで既に許す可 らざる悪であった。勿論 下人は さっき迄自分が、盗人になる

気でいた事などはとうに忘れていたのである。そこで、下人は、両足に力を入れて、いかなり、梯子から上へ飛び上がった。そして聖柄(ひじりづか)の太刀に手をかけながら、大腿に老婆の前へ歩みよった。老婆が驚いたのは云う迄もない。老婆は、一目下人を見ると、まるで弩(いしゆみ)にでも弾かれたように飛び上がった。「おのれ、どこへ行く。」下人は、老婆が屍骸につまづきながら、慌てふためいて逃げようとする行手を塞いで、こう罵った。老婆は、それでも下人をつきのけて行こうとする。下人は又、それを行かすまいとして、押しもどす。二人は屍骸の中で、暫、無言のまま、つかみ合った。しかし勝負は、はじめから、わかっている。下人はとうとう、老婆の腕をつかんで、無理にそこへねじ倒した。丁度、鶏(とり)の脚のような、骨と皮ばかりの腕である。「何をしていた。さあ何をしていた。云え。云わぬとこれだぞよ。」下人は、老婆をつき放すと、いきなり、太刀の鞘を払って、白い鋼(はがね)の色をその眼の前へつきつけた。けれども、老婆は黙っている。両手をわなわなふるわせて、肩で息を切りながら、眼を、眼球がまぶたの外へ出そうになる程、見開いて、唾のように執拗(しゅうね)く黙っている。これを見ると、下人は始めて明白にこの老婆の生死が、全然、自分の意志に支配されていると云う事を意識した。そうして、この意識は、今まではげしく燃えていた憎悪の心を何時(いつ)の間にか冷ましてしまった。後に残ったのは、唯、或仕事をして、それが円満に成就した時の、安らかな得意と満足とがあるばかりである。そこで、下人は、老婆を見下げながら、少し声を柔げてこう云った。「己は検非違使(けびいし)の庁の役人などではない。今し方この門の下を通りかかった旅の者だ。だからお前に縄をかけて、どうしようと云うような事はない。唯今時分、この門の上で、何をしていたのだから、それを己に話さえすればいいのだ。」すると、老婆は、見開いた眼を、一層大きくして、じっとその下人の顔を見守った。まぶたの赤くなった、肉食鳥のような、鋭い眼で見たのである。それから、皺で、殆、鼻と一つになった唇を何か物でも噛んでいるように動かした。細い喉で、尖った喉仏の動いているのが見える。その時、その喉から、鴉(からす)の啼くような声が、喘ぎ喘ぎ、下人の耳へ伝わって来た。「この髪を抜いてな、この女の髪を抜いてな、鬘(かつら)にしようと思うたのじゃ。」下人は、老婆の答が存外、平凡なのに失望した。そうして失望すると同時に、又前の憎悪が、冷な侮蔑と一しよに、心の中へはいつて来た。するとその気色(けしき)が、先方へも通じたのであろう。老婆は、片手に、まだ屍骸の頭から奪(と)った長い抜け毛を持ったなり、簪(ひき)のつばやくような声で、口ごもりながら、こんな事を云った。成程、死人の髪を毛を抜くと云う事は、悪い事かぬ知れぬ。しかし、こう云う死人の多くは、皆その位な事を、されてもいい人間ばかりである。現に、自分が今、髪を抜いた女などは、蛇を四寸ばかりずつに切って干したのを、干魚(ほしうお)だと云って、太刀帯(たちはき)の陣へ売りに行った。疫病にかかって死ななかつたなら、今でも売りに行っていかもしれない。しかも、この女の売る干魚は、味がよいと云うので、太刀帯たちが、欠かさず菜料に買っていたのである。自分は、この女のした事が悪いとは思わない。しなければ、饑死(うじに)をするので、仕方がなくした事だからである。だから、又今、自分のしていた事も悪い事とは思わない。これもやはりしなければ、饑死をするので、仕方がなくする事だからである。そうして、その仕方がない事を、よく知っていたこの女は、自分のする事を許してくれるのにちがいないと思うからである。――老婆は、大体こんな意味の事を云った。下人は、太刀を鞘におさめて、その太刀の柄を左の手でおさえながら、冷然として、この話を聞いていた。勿論、右の手では、赤く頬に膿を持た大きな面皰(にきび)を気にしながら、聞いているのである。しかし、之を聞いている中に、下人の心には、或勇気が生まれて来た。それはさっき、門の下でこの男に欠けていた勇気である。そうして、又さっき、この門の上へ上(あが)って、その老婆を捕えた時の勇気とは、全然、反対な方向に動こうとする勇気である。下人は、饑死をするか盗人になるかに迷わなかつたばかりではない。その時のこの男の心もちから云えば、饑死などと云う事は、殆、考える事さえ出来ない程、意識の外に追い出されていた。「きっと、そうか。」老婆の話が完ると、下人は嘲(あざけ)るような声で念を押した。そうして、一足前へ出ると、不意に、右の手を面皰から離して、老婆の襟上(えりがみ)をつかみながら、こう云った。「では、己が引剥(ひはぎ)をしようと思ひまいな。己もそうしなければ、饑死をする体なのだ。」下人は、すばやく、老婆の着物を剥ぎとった。それから、足にしがみつこうとする老婆を、手荒く屍骸の上へ蹴倒した。梯子の口までは、僅に五歩を数えるばかりである。下人は、剥ぎとった袷肌色の着物をわきにかかえて、またたく間に急な梯子を夜の底へかけ下りた。暫、死んだように倒れていた老婆が、屍骸の中から、その裸の体を起こしたのは、それから間もなくの事である。老婆は、つばやくような、うめくような声を立てながら、まだ燃えている火の光をたよりに、梯子の口まで、這って行った。そうして、そこから、短い白髪を倒(さかさま)にして、門の下を覗きこんだ。外には、唯、黒洞々(こくと)うとう)たる夜があるばかりである。下人は、既に、雨を冒して、京都の町へ強盗を働きに急いでいた。

*** END OF THE PROJECT GUTENBERG EBOOK 羅生門 ***

Updated editions will replace the previous one—the old editions will be renamed.

Creating the works from print editions not protected by U.S. copyright law means that no one owns a United States copyright in these works, so the Foundation (and you!) can copy and distribute it in the United States without permission and without paying copyright royalties. Special rules, set forth in the General Terms of Use part of this license, apply to copying and distributing Project Gutenberg™ electronic works to protect the PROJECT GUTENBERG™ concept and trademark. Project Gutenberg is a registered trademark, and may not be used if you charge for an eBook, except by following the terms of the trademark license, including paying royalties for use of the Project Gutenberg trademark. If you do not charge anything for copies of this eBook, complying with the trademark license is very easy. You may use this eBook for nearly any purpose such as creation of derivative works, reports, performances and research. Project Gutenberg eBooks may be modified and printed and given away—you may do practically ANYTHING in the United States with eBooks not protected by U.S. copyright law. Redistribution is subject to the trademark license, especially commercial redistribution.

START: FULL LICENSE
THE FULL PROJECT GUTENBERG LICENSE
PLEASE READ THIS BEFORE YOU DISTRIBUTE OR USE THIS WORK

To protect the Project Gutenberg™ mission of promoting the free distribution of electronic works, by using or distributing this work (or any other work associated in any way with the phrase “Project Gutenberg”), you agree to comply with all the terms of the Full Project Gutenberg™ License available with this file or online at www.gutenberg.org/license.

Section 1. General Terms of Use and Redistributing Project Gutenberg™ electronic works

1.A. By reading or using any part of this Project Gutenberg™ electronic work, you indicate that you have read, understand, agree to and accept all the terms of this license and intellectual property (trademark/copyright) agreement. If you do not agree to abide by all the terms of this agreement, you must cease using and return or destroy all copies of Project Gutenberg™ electronic works in your possession. If you paid a fee for obtaining a copy of or access to a Project Gutenberg™ electronic work and you do not agree to be bound by the terms of this agreement, you may obtain a refund from the person or entity to whom you paid the fee as set forth in paragraph 1.E.8.

1.B. “Project Gutenberg” is a registered trademark. It may only be used on or associated in any way with an electronic work by people who agree to be bound by the terms of this agreement. There are a few things that you can do with most Project Gutenberg™ electronic works even without complying with the full terms of this agreement. See paragraph 1.C below. There are a lot of things you can do with Project Gutenberg™ electronic works if you follow the terms of this agreement and help preserve free future access to Project Gutenberg™ electronic works. See paragraph 1.E below.

1.C. The Project Gutenberg Literary Archive Foundation (“the Foundation” or PGLAF), owns a compilation copyright in the collection of Project Gutenberg™ electronic works. Nearly all the individual works in the collection are in the public domain in the United States. If an individual work is unprotected by copyright law in the United States and you are located in the United States, we do not claim a right to prevent you from copying, distributing, performing, displaying or creating derivative works based on the work as long as all references to Project Gutenberg are removed. Of course, we hope that you will support the Project Gutenberg™ mission of promoting free access to electronic works by freely sharing Project Gutenberg™ works in compliance with the terms of this agreement for keeping the Project Gutenberg™ name associated with the work. You can easily comply with the terms of this agreement by keeping this work in the same format with its attached full Project Gutenberg™ License when you share it without charge with others.

1.D. The copyright laws of the place where you are located also govern what you can do with this work. Copyright laws in most countries are in a constant state of change. If you are outside the United States, check the laws of your country in addition to the terms of this agreement before downloading, copying, displaying, performing, distributing or creating derivative works based on this work or any other Project Gutenberg™ work. The Foundation makes no representations concerning the copyright status of any work in any country other than the United States.

1.E. Unless you have removed all references to Project Gutenberg:

1.E.1. The following sentence, with active links to, or other immediate access to, the full Project Gutenberg™ License must appear prominently whenever any copy of a Project Gutenberg™ work (any work on which the phrase “Project Gutenberg” appears, or with which the phrase “Project Gutenberg” is associated) is accessed, displayed, performed, viewed, copied or distributed:

This eBook is for the use of anyone anywhere in the United States and most other parts of the world at no cost and with almost no restrictions whatsoever. You may copy it, give it away or re-use it under the terms of the Project Gutenberg License included with this eBook or online at www.gutenberg.org. If you are not located in the United States, you will have to check the laws of the country where you are located before using this eBook.

1.E.2. If an individual Project Gutenberg™ electronic work is derived from texts not protected by U.S. copyright law (does not contain a notice indicating that it is posted with permission of the copyright holder), the work can be copied and distributed to anyone in the United States without paying any fees or charges. If you are redistributing or providing access to a work with the phrase “Project Gutenberg” associated with or appearing on the work, you must comply either with the requirements of paragraphs 1.E.1 through 1.E.7 or obtain permission for the use of the work and the Project Gutenberg™ trademark as set forth in paragraphs 1.E.8 or 1.E.9.

1.E.3. If an individual Project Gutenberg™ electronic work is posted with the permission of the copyright holder, your use and distribution must comply with both paragraphs 1.E.1 through 1.E.7 and any additional terms imposed by the copyright holder. Additional terms will be linked to the Project Gutenberg™ License for all works posted with the permission of the copyright holder found at the beginning of this work.

1.E.4. Do not unlink or detach or remove the full Project Gutenberg™ License terms from this work, or any files containing a part of this work or any other work associated with Project Gutenberg™.

1.E.5. Do not copy, display, perform, distribute or redistribute this electronic work, or any part of this electronic work, without prominently displaying the sentence set forth in paragraph 1.E.1 with active links or immediate access to the full terms of the Project Gutenberg™ License.

1.E.6. You may convert to and distribute this work in any binary, compressed, marked up, nonproprietary or proprietary form, including any word processing or hypertext form. However, if you provide access to or distribute copies of a Project Gutenberg™ work in a format other than “Plain Vanilla ASCII” or other format used in the official version posted on the official Project Gutenberg™ website (www.gutenberg.org), you must, at no additional cost, fee or expense to the user, provide a copy, a means of exporting a copy, or a means of obtaining a copy upon request, of the work in its original “Plain Vanilla ASCII” or other form. Any alternate format must include the full Project Gutenberg™ License as specified in paragraph 1.E.1.

1.E.7. Do not charge a fee for access to, viewing, displaying, performing, copying or distributing any Project Gutenberg™ works unless you comply with paragraph 1.E.8 or 1.E.9.

1.E.8. You may charge a reasonable fee for copies of or providing access to or distributing Project Gutenberg™ electronic works provided that:

- You pay a royalty fee of 20% of the gross profits you derive from the use of Project Gutenberg™ works calculated using the method you already use to calculate your applicable taxes. The fee is owed to the owner of the Project Gutenberg™ trademark, but he has agreed to donate royalties under this paragraph to the Project Gutenberg Literary Archive Foundation. Royalty payments must be paid within 60 days following each date on which you prepare (or are legally required to prepare) your periodic tax returns. Royalty payments should be clearly marked as such and sent to the Project Gutenberg Literary Archive Foundation at the address specified in Section 4, “Information about donations to the Project Gutenberg Literary Archive Foundation.”
- You provide a full refund of any money paid by a user who notifies you in writing (or by e-mail) within 30 days of receipt that s/he does not agree to the terms of the full Project Gutenberg™ License. You must require such a user to return or destroy all copies of the works possessed in a physical medium and discontinue all use of and all access to other copies of Project Gutenberg™ works.
- You provide, in accordance with paragraph 1.F.3, a full refund of any money paid for a work or a replacement copy, if a defect in the electronic work is discovered and reported to you within 90 days of receipt of the work.
- You comply with all other terms of this agreement for free distribution of Project Gutenberg™ works.

1.E.9. If you wish to charge a fee or distribute a Project Gutenberg™ electronic work or group of works on different terms than are set forth in this agreement, you must obtain permission in writing from the Project Gutenberg Literary Archive Foundation, the manager of the Project Gutenberg™ trademark. Contact the Foundation as set forth in Section 3 below.

1.F.

1.F.1. Project Gutenberg volunteers and employees expend considerable effort to identify, do copyright research on, transcribe and proofread works not protected by U.S. copyright law in creating the Project Gutenberg™ collection. Despite these efforts, Project Gutenberg™ electronic works, and the medium on which they may be stored, may contain “Defects,” such as, but not limited to, incomplete, inaccurate or corrupt data, transcription errors, a copyright or other intellectual property infringement, a defective or damaged disk or other medium, a computer virus, or computer codes that damage or cannot be read by your equipment.

1.F.2. LIMITED WARRANTY, DISCLAIMER OF DAMAGES - Except for the “Right of Replacement or Refund” described in paragraph 1.F.3, the Project Gutenberg Literary Archive Foundation, the owner of the Project Gutenberg™ trademark, and any other party distributing a Project Gutenberg™ electronic work under this agreement, disclaim all liability to you for damages, costs and expenses, including legal fees. YOU AGREE THAT YOU HAVE NO REMEDIES FOR NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY, BREACH OF WARRANTY OR BREACH OF CONTRACT EXCEPT THOSE PROVIDED IN PARAGRAPH 1.F.3. YOU AGREE THAT THE FOUNDATION, THE TRADEMARK OWNER, AND ANY DISTRIBUTOR UNDER THIS AGREEMENT WILL NOT BE LIABLE TO YOU FOR ACTUAL, DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE OR INCIDENTAL DAMAGES EVEN IF YOU GIVE NOTICE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

1.F.3. LIMITED RIGHT OF REPLACEMENT OR REFUND - If you discover a defect in this electronic work within 90 days of receiving it, you can receive a refund of the money (if any) you paid for it by sending a written explanation to the person you received the work from. If you received the work on a physical medium, you must return the medium with your written explanation. The person or entity that provided you with the defective work may elect to provide a replacement copy in lieu of a refund. If you received the work electronically, the person or entity providing it to you may choose to give you a second opportunity to receive the work electronically in lieu of a refund. If the second copy is also defective, you may demand a refund in writing without further opportunities to fix the problem.

1.F.4. Except for the limited right of replacement or refund set forth in paragraph 1.F.3, this work is provided to you 'AS-IS', WITH NO OTHER WARRANTIES OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PURPOSE.

1.F.5. Some states do not allow disclaimers of certain implied warranties or the exclusion or limitation of certain types of damages. If any disclaimer or limitation set forth in this agreement violates the law of the state applicable to this agreement, the agreement shall be interpreted to make the maximum disclaimer or limitation permitted by the applicable state law. The invalidity or unenforceability of any provision of this agreement shall not void the remaining provisions.

1.F.6. INDEMNITY - You agree to indemnify and hold the Foundation, the trademark owner, any agent or employee of the Foundation, anyone providing copies of Project Gutenberg™ electronic works in accordance with this agreement, and any volunteers associated with the production, promotion and distribution of Project Gutenberg™ electronic works, harmless from all liability, costs and expenses, including legal fees, that arise directly or indirectly from any of the following which you do or cause to occur: (a) distribution of this or any Project Gutenberg™ work, (b) alteration, modification, or additions or deletions to any Project Gutenberg™ work, and (c) any Defect you cause.

Section 2. Information about the Mission of Project Gutenberg™

Project Gutenberg™ is synonymous with the free distribution of electronic works in formats readable by the widest variety of computers including obsolete, old, middle-aged and new computers. It exists because of the efforts of hundreds of volunteers and donations from people in all walks of life.

Volunteers and financial support to provide volunteers with the assistance they need are critical to reaching Project Gutenberg™'s goals and ensuring that the Project Gutenberg™ collection will remain freely available for generations to come. In 2001, the Project Gutenberg Literary Archive Foundation was created to provide a secure and permanent future for Project Gutenberg™ and future generations. To learn more about the Project Gutenberg Literary Archive Foundation and how your efforts and donations can help, see Sections 3 and 4 and the Foundation information page at www.gutenberg.org.

Section 3. Information about the Project Gutenberg Literary Archive Foundation

The Project Gutenberg Literary Archive Foundation is a non-profit 501(c)(3) educational corporation organized under the laws of the state of Mississippi and granted tax exempt status by the Internal Revenue Service. The Foundation's EIN or federal tax identification number is 64-6221541. Contributions to the Project Gutenberg Literary Archive Foundation are tax deductible to the full extent permitted by U.S. federal laws and your state's laws.

The Foundation's business office is located at 809 North 1500 West, Salt Lake City, UT 84116, (801) 596-1887. Email contact links and up to date contact information can be found at the Foundation's website and official page at www.gutenberg.org/contact

Section 4. Information about Donations to the Project Gutenberg Literary Archive Foundation

Project Gutenberg™ depends upon and cannot survive without widespread public support and donations to carry out its mission of increasing the number of public domain and licensed works that can be freely distributed in machine-readable form accessible by the widest array of equipment including outdated equipment. Many small donations (\$1 to \$5,000) are particularly important to maintaining tax exempt status with the IRS.

The Foundation is committed to complying with the laws regulating charities and charitable donations in all 50 states of the United States. Compliance requirements are not uniform and it takes a considerable effort, much paperwork and many fees to meet and keep up with these requirements. We do not solicit donations in locations where we have not received written confirmation of compliance. To SEND DONATIONS or determine the status of compliance for any particular state visit www.gutenberg.org/donate.

While we cannot and do not solicit contributions from states where we have not met the solicitation requirements, we know of no prohibition against accepting unsolicited donations from donors in such states who approach us with offers to donate.

International donations are gratefully accepted, but we cannot make any statements concerning tax treatment of donations received from outside the United States. U.S. laws alone swamp our small staff.

Please check the Project Gutenberg web pages for current donation methods and addresses. Donations are accepted in a number of other ways including checks, online payments and credit card donations. To donate, please visit: www.gutenberg.org/donate

Section 5. General Information About Project Gutenberg™ electronic works

Professor Michael S. Hart was the originator of the Project Gutenberg™ concept of a library of electronic works that could be freely shared with anyone. For forty years, he produced and distributed Project Gutenberg™ eBooks with only a loose network of volunteer support.

Project Gutenberg™ eBooks are often created from several printed editions, all of which are confirmed as not protected by copyright in the U.S. unless a copyright notice is included. Thus, we do not necessarily keep eBooks in compliance with any particular paper edition.

Most people start at our website which has the main PG search facility: www.gutenberg.org.

This website includes information about Project Gutenberg™, including how to make donations to the Project Gutenberg Literary Archive Foundation, how to help produce our new eBooks, and how to subscribe to our email newsletter to hear about new eBooks.